さつき SATSUKI

第38号
平成22年5月

発行
社会福祉法人
尾道さつき会
広島県尾道市久保町1786番地
TEL（0848）37－7272
FAX（0848）37－9610
http://www.satukikai.com

■高齢者総合ケアセンター星の里（久保町） TEL（0848）37-7272
■尾道さつき作業所（久山田町） TEL（0848）23-8004
■ワークスさつき（美ノ郷町） TEL（0848）48-5900
■尾道サンホーム（木ノ庄町） TEL（0848）48-4070
■むかいしま作業所（向島町） TEL（0848）44-6460
■すだちの家（御調町） TEL（0848）77-1122
■尾道福祉専門学校（久保町） TEL（0848）37-2222
■尾道市障害者サポートセンターはな・はな（門田町） TEL（0848）29-5002

人生楽しく ワッハッハー

～地域のみなさんと尾道みなと祭りに参加～

にしざこの家　山村　武尊

▲笑顔たっぷりの利用者さん

「こころが動けば身体も動く！」を合言葉に、にしざこの家は4月24日（土）に行われた尾道みなと祭りええじゃんSANSA・がり踊りコンテストに参加しました。

チーム名「人生楽しみ隊」として、にしざこの家利用者さん、吉和地域のみなさん、尾道福祉専門学校の学生、そして尾道ねたきりになら連の協力もいただき、総勢160人での参加となり、「人生楽しくワッハッハー」の掛け声に合わせ、大笑いしながら練り歩きました。

残念ながら入賞はできませんでしたが、初めて参加したにしざこの家利用者さんは、「少し疲れたけど、とても楽しかった。ありがとう！」と涙ぐみながら話していました。また、吉和地域の方で今回は踊りを遠慮されのぼりを持って歩いた方は、「もうのぼりは持たないよ。来年はぜひ踊りに参加してみんなと踊りたい！」と来年への意気込みを語っていました。

尾道みなと祭りに参加して、改めて利用者さんのパワー、地域の方々のパワーを感じることができました。「また来年！」この言葉が毎年のように聞けるよう、この一年みなさんと「ワッハッハー」と笑いながら過ごしていきたいと思います。また、にしざこの家は、緑豊かな吉和西迫地区に開設してもうすぐ3年目を迎えます。これからも地域の方との交流を大切にしていきたいと思います。参加していただいたみなさんありがとうございました。

▲参加した吉和地域のみなさん

▼人生楽しくわっはっはー

尾道ねたきりになら連とは…ねたきりになら連は、お年寄りが「いきいきと輝き、健やかに老いる」ことを目標に徳島県で生まれました。尾道では、尾道青年会議所や医師会、社会福祉協議会、老人福祉施設、ボランティア連絡協議会、各専門学校、びんご地域の学生たち等が中心となって活動しています。

ダンスって楽しいね

～月1回のボランティア 心待ち～

尾道サンホーム　江藤　美英

尾道サンホームでは、毎月第1金曜日にボランティアに来られるレクリエーションダンス同好会の方々と「きよしのずんどこぶし」や「北国の春」などの曲に合わせて、踊りを楽しんでいます。

普段なかなか身体を動かす機会の少ない利用者さんも、この時ばかりはすすんで参加し、手をとり合い楽しいひと時を過ごしています。

踊りが終わった後、職員に必ず「今日も踊ったよ」「また来てくれるかね」「楽しかったよ」と笑顔で報告してくれます。

レクリエーションダンス同好会の方にインタビュー

ボランティアのきっかけは？

第1回サンホームまつりに出場させてもらったのがきっかけです。みなさんとのふれあいの場で、レクリエーションダンスをやりたいという気持ちから始めました。

ボランティアをしていて嬉しかったこと、楽しかったことは？

月1回のボランティアなので、負担なくちょうど良いペースで私たちも楽しんでやっています。

利用者のみなさんに毎回「さよなら」「また来てね」と笑顔で言ってもらえることが、とても嬉しく励みになっています。

バナナパウンドケーキを作って行くと、いつも待っていて美味しそうに食べてくださるのが「幸せ」です。

これからもこの時間を大切にしていきたいと思います。

〈レクリエーションダンスとは・・・〉

伝統にとらわれず、流行のメロディやリズムに合わせてみんなで一緒に踊って楽しむもの。

▲レクリエーションダンスのメンバーと踊りを楽しむ利用者さん

まごころ込めてお手伝い

ヘルパーステーション星の里　八木　真知子

介護保険制度が実施され早10年。制度も変化する中、星の里訪問介護事業所は地域のみなさんに支えられサービスを充実してきました。

当事業所は、久保町にある高齢者総合ケアセンター星の里に事務所があり、尾道旧市街を重点に、迅速かつ、まごころの込もったサービス提供ができるように日々努力しています。

ヘルパーは女性スタッフばかりというイメージをお持ちの方も多いと思いますが、当事業所には男性ヘルパーもいます。また、登録ヘルパーも経験豊富な方から、元気が持ち味の方など幅広く充実しています。事務所の中はスタッフ全員が家族のように仲が良く、訪問の合い間にヘルパーも気軽に休憩ができるようになっています。

利用者さんから「星の里さんでよかった」との声がさらに多く聞けるように、これからもスタッフ一同頑張っていきたいと思います。

ただいまスタッフ大募集。
お気軽にお問い合わせください。

寄付者一覧

（二〇〇九年一二月～二〇一〇年三月）

〈寄付金〉 古川巌、廣谷毅、芦田孝子、鼻孝子、井上歯科医院、㈱ゆきひろ、森永康司、中井隆、土屋潔子、桑田知余、青井厚巳、伊藤清弘、笠井紀江、名和田郁夫、時原敏明、高垣泰子、安保ヒフミ、柿原顕乗、尾道地区更生保護女性会向島支部、国貞峯子、尾道さつき作業所保護者会、垣本侑、匿名　順不同、敬称略

〈寄付物品〉 岸本加苗、阿草真理、正木岩見、正木藤枝、(財)尾道老人福祉会、第12回すだちん祭ｉｎいまつの実行委員会、すだちの家保護者会、大高産業㈱、芦田凱男、須田稔、前田令子、藤田久徳、尾道パイロットクラブ　順不同、敬称略

団体から左記の通り助成金の交付がありました。ありがとうございました。

- むかいしま作業所へ
  広島県共同募金会より
  利用者移動用車輌
- 尾道サンホームへ
  広島県共同募金会より
  利用者移動用車輌
- ワークスさつきへ
  広島県共同募金会より
  利用者移動用車輌と
  介護運搬用車輌

編集後記

今年度も広報誌の担当をさせてもらうことになりました。

読みやすく、分かりやすい広報誌を目指していきたいと思います。

今年も年3回の発行を予定しています。お楽しみに。N・D

尾道福祉専門学校
新たな船出

校長　上原　千寿子

広島ＹＭＣＡ学園から尾道さつき会に引き継がれた尾道福祉専門学校は、４月１日に新たな船出をしました。

広島県初の社会福祉法人立の専門学校として、最先端の現場と連携し、福祉現場の現実ときちんと切り結べる教育内容や、より地域との関わりを大切にした介護福祉士養成校の新たな展開は、県や厚生労働省も注目しており、今後の経過を全国に発信していくことが期待されています。

幸いにも「福祉・介護人材確保対策」が打ち出され、今年度の新入生は57名となりました。ただかつてないほどの様々な年齢や人生経験の持ち主なので、それをどう活かしながら、自分とは違う人達の生活や人生を支えていくのか。また、介護の幅広さと奥深さをどう学び合っていくか。とても楽しみな反面、教員としての力量がさらに問われることになると覚悟を新たにしています。関係者のみなさん、これから同じ船団の仲間としてよろしくお願いいたします。

▲誓いの言葉を述べる新入生代表

素晴らしい環境の中で快適に！！
～新たなサービス提供をめざす～

すだちの家　民安　和宏（現　尾道福祉専門学校副校長）

▲明るく、快適な建物ができました

国の助成金を活用して整備を進めていた、すだちの家の増築工事が２月末に完成し、３月８日に関係者や利用者、保護者が出席し、落成式を行いました。

すだちの家は２０００年４月に現在の場所に新築移転をしたばかりですが、この10年の間にすだちの家と第２すだちの家を合わせると、利用者さんは40名を超えるまでになってきました。そこで、手狭になった食堂と厨房の拡張、生活介護事業に利用する部屋を確保すること等により、２事業を統合して新たに生活介護事業を始めることにしました。

すだちの家は以前から、常時介護が必要な方や見守りを必要とする方等が利用されていましたが、生活介護室にはこのような利用者さんが安全で快適に利用ができる工夫が、各所に施されています。たとえば、吹き抜けの高い天井には、部屋の空気を循環させる大きなファンを取り付けています。また、床材には、てんかん発作等によって急な転倒があっても大きなケガをすることがないよう、弾力性のあるものが使用されています。

このような素晴らしい環境の中で、利用者一人ひとりがすだちの家に通うことを楽しみにしてもらえるようなサービスが提供できるよう、職員もいろいろな工夫や努力をしていきたいと考えています。

最後になりましたが、建物の落成にあたりたくさんの方々より物品等のご寄付をいただきました。ご報告とともに感謝申し上げます。

※生活介護事業…障害者（障害程度区分３～６又は50歳以上で区分２の者）が自立した生活または社会生活を営むことができるよう、食事や排泄等の介護や、創作活動又は生産活動の機会を提供する。

▲生活介護室で風船バレーを楽しむ利用者さん

▼まずは笛を吹いて腹式呼吸

パッ、パッ、パッで、お口の体操！

尾道さつき作業所　桂浦　和子

尾道さつき作業所では、歯科医の井上先生の指導のもと、お口の体操「健口体操」を３月から毎日行っています。年齢を重ねるにつれて嚥下（えんげ）機能が低下し、飲み込む力も低下します。窒息・誤嚥等にもつながるので、それを予防するためには口腔体操が良いと井上先生にアドバイスをもらい、始めることになりました。

利用者さんにとっては腹式呼吸は難しかったのですが、笛を使うことによって自然とできるようになりました。唾液を出す為の顔のマッサージ、舌をべーっと出すことを恥ずかしそうにされる利用者さんもいます。しかし、発音練習になり「ぱ・た・か・ら」のボードを取り出すと、数人の利用者さんが前に出て音頭を取ってくれます。「ぱっ、いきます。ぱっぱっぱっぱっぱっ！」とても楽しそうです。

少しでも口腔の機能向上につながるよう、これからも楽しく続けていこうと思います。

▲発音練習「ぱっぱっぱっぱっ！」

きれいな花が咲きました
～久保の家で地域交流会～

久保の家　谷　頼誕

春の気配がしてきた３月23日、久保の家で地域交流会が行なわれました。この会は、久保の家をより知ってもらうのが目的で今回で３回目となります。これまで、隣保班や久保地区民生委員の方々と一緒に食事や活動報告を行ってきました。今回は、久保の家の門周辺に春の花を飾るため、民生委員の方４名と利用者さんとで、プランターに花の苗を植えました。

あいにくの雨に見舞われ、残念ながら屋内で行うことになりました。それでも、久しぶりの土の感触に「最近はこうやって花を植えることはないから楽しい」と喜ぶ声も。また、参加した民生委員の方とは、旭ふれあいサロンで顔なじみの利用者さんもいて話も弾み、和やかな雰囲気で行うことができました。

植え終わると、男性利用者さんが参加したみなさんをねぎらい、抹茶を振舞ってくれました。男性利用者さんは「茶碗をよく温めてから抹茶をたてると、よく泡立つんですよ」と教えてくれました。

今回の交流会のために、花の選定から土などの準備に至るまで、利用者さんと一緒に行ってきました。その場面ごとで利用者さんの喜ぶ顔がとても印象に残っています。植えた苗は、現在しっかりと花を咲かせてくれています。「きれいに咲いたね」と利用者さんと一緒に成長した花を見て楽しんでいます。民生委員のみなさんありがとうございました。これからも、地域のみなさんとの交流を大事にしたいと思います。

▲会話を楽しみながら花を植える利用者さんと民生委員

豊富な提案で食材のコストダウンのお手伝い
ケアンズ有限会社
野菜・果物・世羅のお米
お花・お肉・尾道の地魚
〒722-0015
尾道市吉浦町３－６
TEL 0848-22-2955
FAX 0848-22-2954
携帯 090-3170-3306

「親子教室あいあい」移転

児童デイサービス「親子教室あいあい」を2010年6月1日より尾道総合福祉センターから東尾道卸団地内に移転し、新たにスタートしました。

近くには海岸や公園もあり、色々な遊びや体験を心おきなく楽しめることを心待ちにしています。

◆移転先◆ 尾道市東尾道５番14号